

JP044 椿島・青松島 (つばきじま・あおまつしま)

岩手県：陸前高田市

位置	N 38° 56′ E 141° 43′
----	----------------------

面積	2ha
----	-----

環境構成【島嶼】

椿島は広田半島の沖合約 1 km に位置する無人島である。

青松島は椿島の北西に位置する。

椿島にはかつてヤブツバキが自生していたがウミネコの繁殖活動により消失し、島の大部分は岩場で構成されている。植生は上部にオオイタドリの群落があり、斜面にはヨモギやイネ科などの草地で樹木はない。ピークには灯台があり定期的に点検の為人が上陸している。

青松島は岩手県の希少種トベラやタブノキ、クロマツなどの樹木に覆われ、海沿いにはヨモギ、ラセイタソウ、イネ科の植物が見られる。毎年5月に陸前高田市でトベラの保護を目的としてウミネコの産卵数調査が実施されていたが、最近ではウミネコの卵の間引きはない。



写真：関川實

選定理由

A4i	ウミネコ
-----	------

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

都道府県指定鳥獣保護区（陸前高田市椿島・青松島）、国立公園（三陸復興）、自然環境保全地域

<その他>

国指定天然記念物椿島ウミネコ繁殖地

保全への脅威

- ・海洋汚染
- ・餌の海洋生物の減少
- ・地球温暖化
- ・東日本大震災の影響

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
変わらない
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：無
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
情報なし
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

- ・ モニタリング調査 実施者（陸前高田市教育委員会）
内容：青松島でウミネコの産卵数調査

見られる鳥

ウミネコは、樺島の全域と青松島の一部で繁殖している。樺島では、1990年代からウミウ、オオセグロカモメも繁殖している。ゴイサギは樺島では主にオオイタドリやヨモギの根元や岩棚で繁殖する。樺島はかつてウトウ、ケイマフリの繁殖地として知られているが絶滅した。ウトウ、ウミスズメは夏期にしばしば周辺海上で見られる。

留鳥	ハヤブサ、ハクセキレイ、イソヒヨドリ
夏鳥	ゴイサギ、アマツバメ
冬鳥	アビ類、カイツブリ類、カモメ類、ウミスズメ類、海ガモ類
繁殖海鳥	ウミネコ、オオセグロカモメ、ウミウ

* 樺島・青松島の周辺海域は、マリーン IBA（Marine Important Bird and Biodiversity Areas：海鳥の重要生息地）に選定されている。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCo, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community